

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標1 躍動感あふれる産業のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
1 農業の振興	1 土地基盤の充実	意見等なし
	2 担い手（人・組織）の強化	・道内全体で抱えている課題ではあるが、新規就農者が多い町と少ない町の違いは、新規就農のハードルの高さが農協によって異なる点にあると思う。一般的に新規就農の飛び越えられないハードルは「結婚していることが絶対条件」にあると思う。ただ、それが今の時代に果たして適しているかどうかということは、どの町も悩んでいる状況だと思う。酪農は生涯抱える借金が、普通に起業するよりも圧倒的に多く、「夫婦で責任を取らざるを得ない」ということで話が止まってしまうため、改善策を見出していない。女性一人や二人で何かを始めようとする人が増えてきている。都市部では女性の起業者がとても多いが、北海道では少ないと感じる。酪農は借金が多い点や力仕事ということもあり女性が参入しづらいということもあるが、初めの借金を減らして、一人でも（もしくは従業員を雇って）法人としてやっていけるような仕組みを少しでもつくれるような地盤があれば、町外・道外から新規就農する方がくるのではないか。そう感じた理由として、JA北オホーツクの「まきば」というシステム（実習生として3か月ごとに町内の農家を回るシステム。おそらくはじめは花嫁対策として始まったものだと思うが）で、コロナ禍で仕事がなくなった観光業の方が、このタイミングで次の仕事を探すために酪農に興味があったから来てみたという人を何人も見たし、実際に話を聞いた。半年間働いた女子学生（22歳）は、愛知県出身だが牛が好きで道内の大学に入学し、将来自分で新規就農したく、道内各地のシステムを利用して酪農体験をしているところであるが、各地で新規就農を断られており、雄武町では採草（牧草地での収穫）の仕事をやってみたく、各農家を回ったが、新規就農のハードルが高いと感じ、他の自治体での実習に行ってみるとのこと。
		・研修牧場が開設され、とても良いと思うが、牧場の規模が大きい。大規模経営を前提とした研修牧場は道内各地にあるが、例えば、女性が1人とか、従業員を雇って計2〜3人で経営するとしたら、多くても60頭〜80頭が限界。ただただ利益を増やすために複数の農家が集まり法人化し大規模経営化が進んでいるが、方向性が大規模経営だけに向いていると感じる。それよりも、40頭程の家族経営・小規模経営の農家が町にいっぱいできて、結果的に働き手が増えるような仕組みづくりがある町が少ないので、今までと違った方向性の経営プランがあってもいいのではないか。後期基本計画への方向性の記載は上澄みのように感じる。そういうこともありつつ、女性の担い手や小規模農家の担い手も応援するような仕組みづくりをすることで、他の町がやっていないようなことで注目されるような町になっていいと思う。
		・興部町で新規就農者が増えている理由の一つとして、20代〜30代の若い経営者が多く、新しいことに取り組んでいることにあると思う。働き方改革に取り組んでいる法人もあり、雄武町はそういった点で遅れていると感じる。そういった面も町として支援すれば、新規就農者も増えていき、町全体としても活性化するのではないかと様々な農家を見て思った。

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標1 躍動感あふれる産業のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
1 農業の振興	2 担い手（人・組織）の強化	・就農にあたり、独身だとそもそも農協が話を聞いてくれない状況にある。過去の事例のこともあり農協としても難しいことは十分承知しているが、「じゃあどうしたらいいのか」という案が具体的に何かあることで、例えば令和6年の目標、令和8年の目標に向けて取り組めたらいいのかなと思う。過去の新規就農者数を聞いて、これまでと同じ目標のままだと、同じ状態がずっと続いていく、ということは町が衰退していくということになるので、これまでと違った見方で他の町が取り組んでいないことをやることで移住者も増えるのではないかな。近隣のまちと比べても雄武町はその点で難しいなと思う。自分としては、女性が増えることが町の発展につながると勝手に思っている。若い人が取り組みやすい仕組みづくりを酪農という形でしていただくと他の町との差別化が図られるのではないかな。
		・農家の戸数が減っていく前提で国やJAは大規模経営を推進している。雄武町（町・農協）は家族規模などの小規模経営だと今後の経営状況が厳しいから跡を継ぐのはやめなさいと言っているようにしか思えない。新規就農を求めるのであれば、先に農協に話を通す従来の方法ではなく、町と農協が同時進行で話を聞く形式に転換していく必要があるのではないかな。今一度、原点に立ち返り、小規模経営ならではの良さも取り入れると楽しい酪農になっていくと思う。
		・研修牧場だけだと大規模経営の酪農しか知ることができないため、町内の様々な規模の農家さんのやり方を知ることが必要。新規就農のプロセスとして、2年は町内の各農家をまわり、町・農協・町内農家から「この人だったら新規就農しても大丈夫」というお墨付きをもらうようなバックアップ体制ができれば、きっと一人でも就農できる人も多いと思う。
		・タンクローリーが小規模農家をそれぞれ回ることが大変なため、国やJAとして大規模経営を推し進めたい気持ちもわかるが、大規模になることで担い手が少なくなっているのが現状なので、そうじゃない（大規模農家と小規模農家が共存する）町が道内にいくつかあってもいいのではないかな。
		・新規就農を目指す方は、利益追求でなく、自分と雇用者が生活していけるだけのお金が稼げれば十分と考える人が多い。国の方策に抗うことは難しいとは思いますが、一つのオプションとして小規模経営農家もあっていいと思う。
		・酪農は体力勝負であるため、引退したスポーツ選手を「まきば」方式で一定期間酪農の従業員として呼び込み、体力維持のため休日や空き時間は町内の空いている体育館（廃校など）を使用できるといったようなオプションをつけてPRするというのも、人口減少対策の面からみても一つの方法だと思う。
	3 生産技術の向上	意見等なし
	4 安全・安心な農業の振興	意見等なし
	5 農業による地域の活性化	・（町内の有機栽培をしていない畑作について）幌内のふ化場付近の川に化学肥料が漏出していくのが心配。飲用水にもなっているので、その辺りが気になっていた。

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標1 躍動感あふれる産業のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
2 林業の振興	1 生産体制の強化	・町内林業者が廃業することにより町内14,000haの森林を町内森林事業者2社で対応していかなければならず、また、森林作業員の高齢化により、将来的に森林組合の直営班はいなくなってしまう。近年は町外の業者が参入しているが、作業が荒く、自然環境や景観を損なうような事例が発生している。林業も農業と同様に人手不足であり、特殊機械が多いため初期投資も大きい。他の一次産業と比較して国等の支援も少なく、森林環境譲与税の活用も他自治体の様子を見ながらであるため、中々前に踏み出せない。作業員の確保が急務である。体力勝負な業種ではあるが、業務終了後の自由時間が多いのがメリットであるため、人材確保に成功している町内他業種の会社の例を参考に募集方法の多様化を進めてみたい。
	2 多面的機能の発揮	意見等なし
3 水産業の振興	1 水産資源の保護・増大	意見等なし
	2 経営基盤の強化	意見等なし
	3 消費流通対策の拡大	意見等なし
4 商工業の振興	1 事務所の体力づくりへの支援	・新規創業者支援に関する補助金についての対外的なPRが足りないと感じる。今回の会議で制度開始から多くの店がオープンしていることが分かった。その町にない業種の店がオープンすることは、起業希望者・町民双方にメリットがあるので、そういった実績を情報発信したほうがよいのではないか。
	2 商店街の活性化と買い物環境づくりの推進	・新規創業者は皆無に等しい。5年後、10年後の大通り商店街は壊滅的になると思う。道の駅を建て直す・改良する・大きくするなどしたり、できればAコープと通路でつなげるなどして、そこにいくとある程度の買い物ができるような施設を将来的に考えていったほうがよいのではないか。
		・道の駅の駐車場は幌内側のみで、国道前はイベント広場であり、道の駅の駐車場ではない。国道前の閉店した店舗を壊して駐車場にし、なるべく土地を大きくして、観光バスやキャンピングカーなど大きな車が駐車できるスペースを確保する方法もあるのではないか。
		・商店街の店舗の前の歩道に車を停めて、買い物をするお年寄りが増えており危険である。今後も高齢化によってそういった人たちが増えていくと思う。買い物の場を集約して雨に当たらず様々な買い物ができる方向で考えていったほうがよいと思う。
	3 勤労者の就労環境の向上	意見等なし
5 観光業の振興	1 雄武観光の売り込み	意見等なし
	2 雄武観光の魅力化	・沢木地区、日の出岬を中心としたイベントがない状況である。日の出岬のステージ等の改修など、再開発に力を入れていただきたい。
		・商工会青年部が開催したキッチンカーフェスティバルは大盛況だった。若い力を合わせればいい町になっていくと感じた。
	3 おもてなし力の強化	意見等なし

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標2 安心感の持てる福祉のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
6 保健・医療の充実	1 疾病の予防と健康の推進	・（雄武町データヘルス計画の概要説明から健康保険証のマイナンバーカードへの一体化の報道に話題が波及して）マイナンバーカードの活用方法として良い取り組みだと思うが、受診歴などの個人データの漏洩が心配である。データは使用する人によって良い使い方も悪い使い方もできる。行政（国・役場）の信頼があってこそのものである。
		・（特定健診の受診率が低いことについて）漁師（親方ではなく乗船員）などの一次産業に従事する人たちが受けていないと思われる。行政から各産業団体へ「極力受診してほしい」という働きかけを行い意識づけができると受診率が上がるのではないか。
	2 親と子の健やかな成長の支援	・母子健康包括支援センターについて、役場庁舎内に子育ての総合的な窓口が設置されたが、センターに来てもらうだけでなく、年1～2回でも個別に訪問ケアをしてもよいと思う。
		・乳児に対しては直接自宅へ訪問する実働的な支援、幼児は他の子どもたちと接する機会があるとよいため集合形式で支援するなど、年齢によって支援の方法を分けてもよいのではないか。
	3 「産みたい」希望の実現	・（妊娠を希望する夫婦への支援を周知するための方法等の工夫について）デリケート、センシティブな話題であるため、対象となりうる町民への周知のタイミングとして、婚姻届を受理した際に情報提供してもよいのではないか。
		・匿名で相談できる体制があると相談しやすくなると思う。（匿名で電話し、日時、場所を決めて面談するなど）
	4 メンタルヘルス対策の推進	・メンタルヘルスについてはデリケートな問題であるため、匿名で相談できる体制を確保する必要があると思う。
	5 地域医療の確立	・赤字経営が続いており、一次医療を単独で運営することは難しいと思う。国の施策として、都市部の医師や看護師を地方に輪番制で来てもらうような一次医療の広域化に取り組んでもよいのではないか。
		・特別養護老人ホームの機能を現在の国保病院に移し、病院の機能を現在の特別養護老人ホームに移して診療所にしてもよいのではないか。
		・町民の国保病院に対する信頼度が低いと思われる。信頼度を高める取組みが必要。健康診断を国保病院で受診した際、導入されている医療機器が良く、受診してとても良かった。雄武町にはとても良い温泉があるので、健診と温泉をセットにして、町外の方に1泊2日で健診を受けに来てもらうような取組みができたら良いと思う。
		・医師の確保について難航しているところではあるが、事務局は頑張っていると思う。
7 高齢者支援の充実	1 安心して暮らせる環境づくり	・若い人たちは、賃金や、頑張った分だけ賃金に反映される仕組み（昇給など）というようなやりがいある職場を重視するため、町全体として人材確保をしていくためには、事業者への支援が必要かと思われる。
		・計画に記載されているのは健康な高齢者に向けた取組みが主のように見受けられる。特別養護老人ホームに入所する順番待ちの解消に向けた対策について、介護人材が少ないため、新たな受け皿を広げることができないと思われる。施設のキャパシティも小さいため対策が必要である。
	2 いきいきと活躍できるまちづくり	・退職して一人暮らしをしている高齢者の中には、人との関わりがなくなったことにより認知症の症候が出始めている方もいる。一人にさせないためにも、生きがいづくりとしてボランティアを選択肢に入れられるような仕組みがあるといいと思う。
		・（社会福祉協議会に地域おこし協力隊員を配置する予定であることに関して）業務の幅が狭いように感じる。もう少し自由にしてもよいかもしれない。

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標2 安心感の持てる福祉のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
7 高齢者支援の充実	2 いきいきと活躍できるまちづくり	・移住者としての視点では、他自治体と比較して高齢者支援・子育て支援は進んでいるように感じる。高齢者の生きがい対策として、子育て支援センターの親子教室で高齢者と子どもを遊ばせたりしてはどうだろうか。子どもと高齢者の交流ができるとともに、必然的に親が高齢者の方へも目を向けることになるため、3者間でのサポート体制ができるかと思う。0から1にすることは難しいことだが、既存の取組みにミックスさせることで実現可能なものはいくつかあると思う。
		・高齢者と子どもが一緒に過ごすことのできる場があってもよいのではないか。（日時を決めて集まるのではなく、自由に来て自由に帰ることのできるような場）
		・図書館協議会としても図書館を老若男女が集える場所としたいが、中心市街地からやや離れた場所にあるため、高齢者が図書館に行くまでの移動手段がない状況である。取組みの実施となると循環バス等が必要になってくると思われる。
		・高齢者担当部署の取組み、子ども担当部署の取組みで別々に行うというのではなく、もっと広範で横断的な施策が必要であると思う。
8 子育て・子育ての充実	1 就学前保育・教育の充実	・保育士が不足している。募集をしても本年度1名採用となっただけであり、保育士たちは大変な状況である。特別な支援が必要な子ども達が増えている傾向にある。紙での募集だけでなく短大などに出向いて雄武町の良さをPRするような取組みを実施しても良いのではないか。札幌市内でも保育士が不足している現状を考えると、北海道に憧れる人にターゲットを向けたほうが良いと思う。道外・首都圏の学校へPRしたほうが効果が高いのではないか。
		・保育士になろうとする学生に対する奨学金制度を作っても良いのではないか。（現在町で実施している医師・医療技術者や土木・建築技師向けの制度と同様なもの）
		・現在実施している雄武高校を卒業する生徒に対する奨学金・給付金制度は、将来雄武町に帰ってくる、帰ってこないに関わらず全員を対象にしているため、保護者への金銭的支援だけになっていると思う。雄武町に帰ってきて働こうとする人に対しての奨学金であれば、制度に納得する町民も増えるのではないかと。対象についても行政職員を含めても良いと思う。「まちづくりは人づくり」「地元に戻ってきたくなるまちづくり」が大事だと思う。
	2 地域ぐるみの子育て支援	・東川町において、（一般の子育てサービスを利用することが難しい）親に対して、保健師・子育てヘルパー等が家に訪問し、子育て（養育）について助言を行う事業を実施している。事業・サービス内容について視察等も含め勉強していただきたい。
		・雄武小学校から児童センターまでの距離が遠い。子どもたちからも聞いている。小学校から比較的近い図書館にも児童センター的な役割を持たせるなど、施設の有効な利用方法を検討すべきではないか。
		・子育て世代である親御さんのことを考えると、幼稚園・保育所から小学校までに関する施設についてはそれぞれ近い場所に集中したほうが良いと思う。距離感の配慮が必要になると思う。現在の雄武小・雄武中・雄武高校があるエリアを「子育て支援地域」と銘打って、将来的に施設を集中させるというのも一つの手だと考える。
	3 経済的負担の軽減	・町の財政を考慮すると、所得に応じた支援の検討を行ってもよいと思う。
		・経済的負担の軽減はとてもありがたいことだが、何でも無償とするのではなく、一定の金額を徴収したほうが、（対価を頂くことによる責任が生まれ、）サービスの確実性の向上や安心感が生まれるのではないかと。

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標2 安心感の持てる福祉のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
9 社会福祉の充実	1 社会福祉の充実	意見等なし
	2 発達支援の強化	・ 保育所においても障がいをもつ（または傾向がみられる）子どもがいる。（既に実施しているかと思うが、）保育士も研修等を通じて更に勉強していく必要があると感じている。
	3 障がい者が活躍できる環境づくり	・ 障がい者を受け入れる施設が少ない。廃校等の活用も含めて検討してほしい。
		・ 町民が障がい者と接する機会がないため、接し方を知る機会が得られない。課の縦割りにとらわれず横断的な取り組みとして機会を創出してほしい。
10 社会保障制度の充実	3 障がい者が活躍できる環境づくり	・ 障がい者との接し方がわからないのは、町内にこれまで事業所がなかったため、障がい者が町外へ出ていったから。障がい者を受け入れる企業等を増やすため、理解を深める必要がある。
		・ 町内企業の受け入れ体制をつくるため、ロータリークラブや商工会等を通じて、障がい者を雇用する事業所や障がい者団体等の取り組みを見てもらい、「うちの企業でも受け入れできる」と思っただく機会を設けたらどうか。実際に西興部村の牧場で単純作業を実施している事業者があり、近隣市町村でも取り組み事例がある。
	1 医療保険制度の安定化	意見等なし
	2 年金相談対応等の充実	意見等なし
	3 低所得者の自立の支援	意見等なし

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標3 達成感から学ぶ教育のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
11 学校教育の充実	1 小中学校の教育内容の充実	・（全国学力・学習状況調査で「学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり1時間以上勉強をしている」と回答した児童生徒の割合が低いことに関して）家庭学習の習慣づけができておらず、そもそも子どもたち自身が家で勉強する方法がわからない状況にあると推察される。中学校において家庭学習の習慣化の取組みを実施しており、一定の成果が出ているところである。家庭学習が少ない一方で、ゲームやSNS（LINEなど）に時間を費やす子どもの割合が多く、家庭においてルール決めを行うなど、学校と家庭が連携して解決していかなければならない。
		・（家庭学習の習慣づけに付随して）どの時代においても永遠の課題である。児童センターで宿題に取り組む児童がいるが、面白い（勉強の意欲を高めるような）宿題を出している学年がいる一方で、「この解答はどうなのだろう」と疑問に思うような宿題を出している学年もある。もっと面白い宿題が増えると子どもたちも楽しんで取り組むのではないか。
		・（中学校での家庭学習の習慣化の取組みに付随して）家庭学習の習慣づけは小学校のうちからしっかりさせたほうがよいのではないか。小学校の宿題は簡単に終わるプリントで、学年によっては提出してもしなくても何も言われないうという。せっかく前学年で家庭学習が定着しかけていたのに、無駄になってしまっている子どももいるかと思う。
		・（ゲームや携帯電話を長時間する子どもの割合が多いことは）学校だけでは解決できない課題であり、家庭における教育が重要。家のWi-Fiを切る時間を作ったり、携帯電話やゲームをせず親と話す時間を月1～2回でも設けて、親子のコミュニケーションを図るべき。
		・登校拒否、不登校傾向にある生徒がいる。別室であれば登校できる生徒もおり、別途対応している。特別支援学級に配置する教員が限られている（決められている）。正直足りない。今後も特別支援学級に在籍する生徒が増加すると想定されるが教員数はほぼ変わらない。町費で教壇に立てる（授業を行うことができる）教員を雇う自治体中にはある（あまり多くはないが）。現在、保護者や生徒の希望に沿うように学校で対応してはいるが、現状、限界に近い。これ以上は対応しきれないと言わざるを得ない状況であることを知っていただきたい。（部活動の地域部活動化のことも含めて）教員だけ、学校だけ働き方改革で楽をして…と思うかもしれないが、少し楽にさせてほしい。先生方が倒れる。校長としては先生方に早く帰ってほしいが、帰れる状況にない。先生方がもっと（いい意味で）手を抜かないと、先生方はきっとこの後倒れてしまい、「この町に来たい」と思ってくれる先生がいなくなる。
		・教育については、まず人員を増やす必要がある。現状維持では厳しいということを考えなければならない。
		・いじめや不登校は必ずきっかけがある。教育委員会と学校が連携して検証する体制を強化・継続すべき。中学校における手厚い支援によって登校できるようになった生徒もいる。
		・（教育に限らず、）この町の問題は、外（他の地域）からこの町に人が入ってこなければ解決はないと思う。この町に住む人材だけでどうにか…ではなく、これまでと異なる視点を持った外部人材や町外出身者（移住者）の意見を取り入れなければいけない。考え方が多様化すれば様々な問題が解決すると思う。
	2 小中学校の教育環境の充実	・（現在の雄武小学校・雄武中学校の建設から年数が経過していることに関して）GIGAスクール構想でタブレット端末や大型モニターが導入され、また、新型コロナウイルス感染症の感染防止策として空気清浄機や扇風機が導入されたが、中学校では教室が狭くて入らない状況にある。審議会の委員に学校に見に来ていただき、今後の改修に係る意見をいただきたい。

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標3 達成感から学ぶ教育のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
11 学校教育の充実	2 小中学校の教育環境の充実	・タブレット端末の持ち帰りを行う際、インターネット環境がない家庭に対する対応が必要である。費用はかかると思うが、町内全域を無料Wi-Fi化するなどしてはどうだろうか。学校だけでなく、リモートワークが可能な企業等、移住対策にも波及すると思う。
		・雄武小学校、雄武中学校の校舎の老朽化対策は待ったなしの状態。喫緊の課題だと思う。
	3 開かれた学校づくりの推進	・コミュニティ・スクールにおける雄武高校の立ち位置、関わり方について町とすり合わせを行わなければいけない。
		・読み聞かせボランティアを募っても集まらない。部活動の支援を募っても集まらない。地域に活気がない。「やってやろう」という気力がない状態だと思う。
	4 魅力ある高校づくりに向けた支援の強化	・高校の「魅力」を多面的に深めていきたい。高校の魅力は「学力」だけでなく「部活動」「人間関係」「スケールメリット」など、子どもたち本人や親の思いがあるため、もっと広い意見形成が必要である。基本的な考え方は「つながりと発信」。つながりは「地域」。地域人材による授業や町のドコデモまちづくり講座、観光協会との連携など、地域素材を活用した「ローカル」な面は実施できているが、これから実施していきたいのは外の世界とつながる「グローバル」。現在はその面が課題である。今を生きる子どもたちは外の世界とつながっていかなければならず、ローカルとグローバルをリンクさせていかないとこの先の社会で通用しないと思うため、町と連携協力して取組みを実現したい。漁業や酪農を通じた国際交流など、様々な視点を学び視野を広げる仕組みを与えていく必要があると思う。
		・（雄武高校の生徒・保護者に対する財政支援に関わり）給付型奨学金に所得制限をかけたかどうかと一部町民から聞こえてくる。町の財源・基金にも限りがあるため、持続可能な体制づくりが必要だと思う。
		・家族以外の大人と関われる場所を作ってあげられれば良いと思う。町外から里帰りして気づいたのは、人間的に魅力がある人が一生懸命物事に取り組んでいること。そういった頑張る大人と接する機会があれば、もっと「雄武町に残って働きたい」と思う子どもたちが増えるのではないか。
12 生涯学習・生涯スポーツの推進	1 生涯学習活動の推進	・（社会教育委員としての立場としての発言）サークルの中心となる指導者がいない状況である。特技を持つ町民をデータベース化し、生涯学習活動の発展につなげたい。また、このデータベースは生涯学習に限らず福祉などにも活用できるようにしたい。
		・（益子町児童との交流が町の事業でないことに対して）益子町も武雄市と同様、長年の交流を続けてきており、受入団体の高齢化も進んでいることから、武雄市との交流と同様、町の事業として実施してもよいのではないか。
	2 生涯スポーツ活動の推進	・スポーツセンターの体育館でバスケットボールの公式試合ができないことはご存じだろうか。バスケットゴールの寸法がそれぞれ異なるためフリースローの距離も違う。フルコートを使用できない。体育館内に控え選手等の待機場所がないことから、ロビーに出て待機する必要がある。これでは子どもたちにバスケットを教えたくても教えられず、中学校や高校の体育館を借用せざるを得ない。体育館の一番の問題は、床が硬くてけがをしてしまうおそれがあること。今時このような床の体育館はない。あの床でできるスポーツは、ペタンクなどの跳んだり走り回らない競技しかできないと思う。ペタンクはお年寄りや障がい者も楽しめるスポーツであり、生涯スポーツとしてはいいものではあるが、教えられる人がいない。スポーツセンターの建替が計画に上がっていないのは何故なのか。生涯スポーツ活動の推進とあるが、ちゃんとした施設がないのにここで議論しても意味がないのではないか。施策を推進するためには様々なスポーツができる施設が必要である。

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標3 達成感から学ぶ教育のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
12 生涯学習・生涯スポーツの推進	2 生涯スポーツ活動の推進	・（上記の意見に対して）そのような意見を持つことも十分承知している。社会教育委員としての立場として、今後、関係団体と共に「スポーツセンターを考える会」を作り、町民にオープンにして議論をしたいと考えている。
		・町営プールがかなり老朽化していると思われる。20年以上前でも古いと思っていたのに、未だに同じ建物のままである。プールはいち早く何とかしてほしい。
		・子どもたちも言っていたのだが、更衣室のプライバシーが保たれていない状況にあると思う。窓の創意工夫が必要。
		・雄武高校の存続は、生徒数が少ないとどうしようもないので、「子どもを（雄武高校に）連れてくる」「ここ（雄武高校）で育てる」しかないと思う。生徒数がギリギリ保てるあいだに、そういった手立てをとらなければ厳しいと思う。高校の部活動が少ないというのは生徒数も教員数も少ないため。生徒数が増えれば教員の数も増え、部活動も増えると思うが、生徒数が減っていく現状では、団体競技もできず、やりたくてもやれないのが現実。
		・30代や40代の社会人でもスポーツをしたい人はいると思うが、場所がない。学校開放で小中学校の体育館を利用する場合、21時までしか使用できない。17時台に仕事が終わる人はいいが、18時台に終わる人が（活動時間を確保するため）19時に集合してスポーツを行うとなると、（ストレッチなどに費やす時間が足りず、筋肉等が柔らかくなっていない準備不足の状態です始めてしまい）それこそけがの元となるので、箱（スポーツができる施設）にこだわる。社会人が利用しやすいように閉館時間を延長するなど、スポーツ施設は時代に合った運用も必要になると思う。
		・雄武の野球少年団がなくなり、興部に行っている。従って、中学校で野球をやろうとしても興部まで行かないといけな い。草野球をするのも興部に行っているという。雄武には試合ができるいい球場があるのに、何故雄武で野球をやらないの か。ファイターズの応援大使として選手が来た時のように、トップアスリートにふれる機会は、いかにプロがすごいとい うのを直に見る・触れることができ、とても良いことである。現状の町内の施設状況を考えると、野球場（農村広場）を活 用して、野球やソフトボールであれば実現可能ではないか。
		・箱（スポーツができる施設）にこだわるのは、プロバスケットボールチームの球団関係者に知人がおり、雄武町にプロア スリートを呼び、子どもたちとふれあう機会を作ってあげたいという思いがあるから。和寒町にバレーボールチームの合宿 が来るのであれば、紋別市にボクシングや陸上、駅伝の合宿が来るのであれば、雄武町でもできるのでは、と思っていま う。
		・（コミュニティ・スクールの委員の立場として）国の施策で、令和5年度から順次、部活動を学校から地域の団体に移行さ せることとなっているため、地域で部活動を支える組織づくり・仕組みづくりが必要となっており、コミュニティ・スクー ルにおいて議論を深めていきたい。
		・（部活動の地域移行について、学校関係者の立場として）学校における部活動をそっくりそのまま地域に委ねるのではな く、昔でいう小学校のクラブ活動のような、勝ち負けでなく楽しみながら活動する人たちの集まりになるのではないかと 思われる。勝ち負けにこだわるのであれば、それぞれの競技団体で勝ち負け用のチームを組織していかなければならないが、 「受入団体がない」「どの団体に誰がいるのかデータバンクがない」「引き受けてくれる指導者もいない。引き受けたとし てもそれだけで生活していくことができない（手当がない）」「仕事の閑散期だけなど時間・時期的な制約がある」など、 色々な問題が出てくると思われる。令和5年度からこの話が波のように押し寄せると思われるので、生涯スポーツの観点から も（社会教育も含め）各種団体にもご協力いただきたい。

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標3 達成感から学ぶ教育のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
12 生涯学習・生涯スポーツの推進	3 図書サービスの充実	・デジタル化により図書館に行かなくても本が読める時代が来ると思う。既に導入している国会図書館の電子サービスや、（紙の蔵書の重要性は十分承知しているが）デジタル図書が国や道との兼ね合いで一気に増えたり、紙の蔵書をこれ以上増やさないというような方向になっていく可能性はあると思う。
		・（図書館協議会委員の立場として）図書館で実施している各種サービスの普及啓蒙をおこなっていきたい。
	4 芸術・文化の振興	・町民センターについては建替の予定はあるのか。オホーツク管内様々な自治体を見てきたが、文化ホールが無いのは近隣では雄武町のみだと認識している。興部町でさえ可動式のステージがあり、柔道大会や剣道大会、バレーボールなど、スポーツもできる施設である。過去にNHKののだ自慢を招致しようとした際、客席が最低600席必要とのことだったが、町民センターはどんなに頑張っても500席が限界であったため、雄武高校を借りようかという話までになった。文化ホールが無いというのはいただけない。文化講演会を町民センターでやるというのもいいのだが、講演していただけるのであればもう少しちゃんとした設備のあるようなホールにするなどやりようがあると思う。今のままだと講師の方に申し訳なく感じてしまう。現在、改修によって照明やエアコンなど、以前と比べていい環境になったが、文化の振興という面で、もう少し何とかしてほしいと思う。照明もいいものを入れているが扱える人がいないため、宝の持ち腐れになっていると思う。
		・（社会教育委員の立場として）現状、町民センターの稼働率が低いのに建設するというのは難しい。「必要」と「欲しい」は別。建て直すのではなく、まずは改修ありきで進めたい。
		・町民センターで、夏休みと冬休みの年2回でも映画を上映してみたり、毎月1回何かイベントを実施するとか、稼働率を上げる取組みはいくらでも考えられると思う。文化連盟団体として稼働率を上げる取組みを増やせたら、状況は変わってくるのか。使用料が高くなったことにより町民センターを活用した練習を諦めた経緯もある。使用料の低減も検討してほしい。
		・（社会教育委員の立場として）財政状況を鑑みて過去に町民センターの使用料を上げたのはいいいが、それにより稼働率が低くなって、新しい機材が使われずにただ古くなっていくのは、確かに本末転倒である。
		・今の町民センターは（市街地の中にあるため）町民が集まりやすい場所にある。改修で進めるのであれば、場所の利点を活用した手立てを考えていくしかない。

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標 4 快適感を満たす環境のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
13 環境の保全	1 自然環境・地球環境の保全	意見等なし
	2 景観形成・環境美化・公害防止の推進	・合葬墓について、「名前を表示しない、納骨後の供養等について行わない」旨を事前に説明・了承した上で納骨されていると思うが、年に1回くらいは、お盆あたりにでもいいのでお経をあげたほうが良いのではないか。
	3 ごみ・し尿処理の推進	・都市部から雄武町に来て、分別の多さにびっくりした。プラスチック容器に紙のシールがついていて一部残ってしまった状態のごみがプラスチックごみなのか燃やせないごみなのか分からず、町民に聞くととりあえず黄色いごみ袋（燃やせないごみ）に入れば大丈夫と言われた。大方のごみの分別は「ごみの分け方ガイド」や町広報紙などで周知されているが、どのごみに分別されるかわからないごみの分別方法については、ごみステーションに掲示するなどしたら、リサイクル率の向上等につながるため良いと思う。
		・田舎でも都会と同じようにエコを推進していかなければならない。
	4 エネルギーの有効利用	意見等なし
14 交通体系の整備	1 道路環境の向上	・道道美深雄武線の拡幅事業について。未整備区間の道路の除雪作業を行っても、すぐに路肩に雪が溜まっていき、道幅が狭まるため、スピードを出さないと雪が飛んでいかない。道に対して早期の排雪を要望しているが、予算の都合上難しいと言われてしまう。対向車が来た際に危険であるため、安全の観点から一刻も早い拡幅をお願いしたい。
	2 公共交通の維持・確保	意見等なし
15 上・下水道の整備	1 水道の安定供給	・漁協において、幌内から御西まで河川の水質検査を40年ほど実施している。異常値を検知した場合、町に情報提供するので相談にのってほしい。
	2 下水道の普及推進	意見等なし
16 住環境の整備	1 良好な住空間の形成	・雄武町に来て感じたのが、住む家を探すのがとても難しいこと。都会から地方へ移り住む人は「田舎に来たからには一軒家に住みたい」という人は多いと思う。住めなさそうな家でも、自分たちで内装等のDIYをすることを条件に借りるということも他自治体内では事例として増えているので、参考にしてほしい。
		・移住の問い合わせに対応できる住宅のキャパシティが必要。住み家（空き家・賃貸住宅）に関する情報発信を一丁目一番地として早急に取り組む必要があると思う。
		・町内に点在する倒壊寸前の空き家などの建物について、後期計画に向けて対策を進めているところであると思われるが、景観上好ましくなく、飛散物の近隣住民への被害のおそれがあることから、きれいなまちづくりの観点からも早急に対応いただきたい。
		・快適住まいづくり補助金の補助金額を1.5倍～2倍にしたほうが良いのではないか。以前と比べ建築資材が高騰しており、マイホームを建てるために必要なお金が倍になった。家を買えないため社宅から出られない社員が発生し、新規人材の採用に支障がでている団体もある。民間賃貸住宅建設の補助が今年度で終了することから、その予算をうまく活用できないだろうか。
	2 町営住宅の適切な運営	意見等なし

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標 4 快適感を満たす環境のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
16 住環境の整備	3 都市計画・公園・緑地整備の推進	意見等なし
17 消防・救急・防災体制の強化	1 災害予防対策の推進	意見等なし
	2 消防・救急体制の充実	・救急救命士の増員や高規格救急車の整備等、消防の救急・救命に関することはすごく進んでいると思うが、一次救急である国保病院の受入体制についても同時に整備を進めていくべきではないか。
	3 危機管理対策の強化	・10月4日にＪアラートが発令された際、小学生は普段どおり元気よく登校していた。どのような行動をすればよいのか分かっていない町民が多数いることから周知を徹底していただきたい。
		・（Ｊアラートに関して）北海道は広いので、発令範囲を分けてほしい。（北と南に分けるなど）
18 防犯・交通安全の推進	1 防犯体制の強化	・特殊詐欺については、老人クラブ等で注意喚起をしているが、来ていない高齢者が大半であることから、消費者協会においても街頭啓発等の啓蒙活動をしていただきたい。
	2 交通安全対策の推進	・交通死亡事故ゼロが今年12月13日で2000日を達成するところであるが、町内だけではなく雄武町民が第一原因者となるような町外の事故を防ぐような啓発活動を進めていただきたい。
		・町内については新日の出町のセイコーマート付近の交差点を重点的に啓発活動をしてほしい。過去に車両同士の接触事故も発生しており、重大な事故が発生する前に対策をしていただきたい。
19 情報通信網の整備・充実	1 地域情報化の推進	・町内全域を対象に光ファイバーの整備を進めていることは町としての魅力にもなるので、情報通信網に係る独自の事業を行ってほしい。
	2 行政情報化の推進	意見等なし

第6期雄武町総合計画（後期基本計画）策定審議会専門部会における委員からの意見

政策目標5 連帯感を高める協働のまち・雄武

基本施策	単位施策	委員からの意見等
20 町民主体のまちづくりの推進	1 地域づくり活動の促進	意見等なし
	2 まちづくり情報の共有化	意見等なし
	3 町民と協働体制の構築	意見等なし
21 多様な交流の促進	1 国際交流・地域間交流の促進	意見等なし
	2 男女共同参画の推進	意見等なし
22 効果的・効率的な行政経営	1 計画行政の推進	意見等なし
	2 職員の活性化	・若手の町職員に係るメンタルヘルスの不調が目立つことから、対策にもっと力を入れてほしい。
	3 公共施設の適切な管理	・町営住宅の空室が最近多い。空室が多くても収入制限があり入居できない人が多数いることから、町営住宅よりも収入制限が緩和されている町有一般住宅の整備をもっと進めてほしい。
		・特に単身者が住める住宅を増やしてほしい。
		・スポーツセンターや小中学校については、劣化が著しいことから、町民へアンケートを実施し、対応策について方向性を決めてくべきではないか。
	4 財政の安定化	意見等なし